

田辺工業が金賞

県高校照明コンクール

田辺市あけぼの、田辺工業高校電気電子科の生徒が、このほどあった県高校照明コンクールアイデアデザイン部の部と製作の部で金賞を受賞した。



照明コンクールで金賞と特別賞を受賞した田辺工業高校の生徒

県高校教育研究会工業部会と県産業教育振興会工業教育部が主催。アイデアデザイン部の部は照明器具などのアイデアやデザインを募り、89点の中から金賞7点、銀賞9点、銅賞15点、特別賞の朝陽賞2点とパナソニック賞1点が決まった。

田辺工業高校からは2年生の中川詩渚さんと高岩真怜君、1年生の竹中大輝君と田中海渡君がそれぞれ金賞を受賞。非常時や日常使える照明器具などを提案した。他にも同校からは銀賞2点、銅賞7点選ばれ、朝陽賞には財布に入り災害時に使えるカード型ライトを考えた2年生の可野恭伍君(銅賞)が選ばれた。高岩君は「金賞はびっくりした。将来は工業系の仕事を考えている。来年度も賞を狙って参加したい」と話した。製作の部には照明器具7点が集まり、金賞1点、銀賞2点、銅賞2点、朝陽賞1点となった。同校からは課題研究

「照明器具の製作」班の3年生、稲豊健君、射場翔太君、陰裡海斗君、愛須健太郎君、平田秀磨君、溝端涼君、山本和樹君、山本悠貴君が金賞を受賞。アルミ板やステンレス板、発光ダイオード(LED)などを使い、サボテンを飾った照明器具(高さ約20センチ、幅25センチ)を作った。インテリアとしての使い方や癒やし効果なども考えているほか、磁石でメモ用紙を張ることもできる。

溝端君は「植物と照明器具を合わせたものはあまりないと思う。何回も作り直し、金賞が取れて満足」と話した。